

予防に必要な注意を払うよう努めます。

(ウ) 県等は、積極的疫学調査の一環として動物の病原体保有状況調査（動物由来感染症の病原体の動物における保有の状況に係る調査をいう。）により広く情報を収集することが重要であるため、保健所、衛生研究所、動物等取扱業者の指導を行う機関等が連携を図りながら調査に必要な体制について構築していきます。

(エ) 動物由来感染症の予防及びまん延の防止の対策については、感染症の病原体を媒介するおそれのある動物に対する対策や、動物等取扱業者への指導、獣医師との連携等が必要であることから、県等の感染症対策部門において、ペット等の動物に関する施策を担当する部門と適切に連携をとりながら対策を講じていきます。

エ 外国人への対応

感染症法は、県内に居住し又は滞在する外国人についても同様に適用されるため、保健所等の窓口に感染症対策を外国語で説明したパンフレットを備えておく等の取組を行います。

オ 薬剤耐性対策

県等は、医療機関において、薬剤耐性の対策及び抗菌薬の適正使用が行われるよう、適切な方策を講じます。

別表（数値目標）（\*1）

区分	目標項目		平時	流行初期	流行初期以降
(1)医療提供体制	協定締結医療機関（入院）の確保病床数			1, 200床 (*2)	2, 000床 (*2)
		うち重症病床数		100床	150床
	協定締結医療機関（発熱外来）の確保医療機関数			1, 100機関	1, 600機関
	協定締結医療機関（自宅療養者等への医療の提供）の機関数				2, 200機関
		うち病院			100機関

		うち診療所			850機関
		うち薬局			1,100機関
		うち訪問看護事業所			150機関
	協定締結医療機関（後方支援）の機関数				170機関
	協定締結医療機関（人材派遣）の確保人数				250人
		うち派遣可能な医師数			100人
		うち派遣可能な看護師数			150人
(2)物資の確保	个人防护具の備蓄を十分に行う協定締結医療機関（病院・診療所・訪問看護事業所）の数		協定締結医療機関の8割以上		
(3)検査体制	検査の実施能力			4,500件/日	12,500件/日
		うち地方衛生研究所等 ※（）内はPCR検査機器数		650件/日 (15台)	900件/日 (16台)
		(県)		300件/日 (5台)	300件/日 (5台)
		(さいたま市)		100件/日 (4台)	200件/日 (4台)
		(川越市)		90件/日 (2台)	180件/日 (3台)
		(川口市)		80件/日 (2台)	120件/日 (2台)

		(越谷市)		80件/日 (2台)	100件/日 (2台)
		うち医療機関・民間検査機関		3,850件/日	11,600件/日
(4)宿泊療養体制	協定締結宿泊施設の確保居室数			1,000室	1,900室
(5)人材の養成・ 資質の向上	医療従事者や保健所職員の研修・訓練回数		年1回以上		
(6)保健所の体制 整備	流行初期1か月間において想定される業務量に 対応する人数(*3)			1,280人	
		うち南部保健所		51人	
		うち朝霞保健所		77人	
		うち春日部保健所		53人	
		うち草加保健所		55人	
		うち鴻巣保健所		56人	
		うち東松山保健所		34人	
		うち坂戸保健所		38人	
		うち狭山保健所		89人	
		うち加須保健所		36人	

		うち幸手保健所		47人	
		うち熊谷保健所		63人	
		うち本庄保健所		31人	
		うち秩父保健所		30人	
		うちさいたま市保健所		275人	
		うち川越市保健所		91人	
		うち川口市保健所		163人	
		うち越谷市保健所		91人	
	1年間以内のIHEAT研修受講人数			56人	
		うち県		16人	
		うちさいたま市		15人	
		うち川越市		7人	
		うち川口市		8人	
		うち越谷市		10人	

- \* 1 予防計画における数値目標は、これまでの対応の教訓を生かすことができる新型コロナウイルス感染症への対応を念頭に置くこととします。
- \* 2 流行初期：1,200床・流行初期以降：2,000床の確保数には、感染症病床の77床も含まれます。(令和6年1月現在)
- \* 3 配置・派遣に当たっては、第一種感染症指定医療機関を管内に有することを勘案します。

#### 4 指標

##### (1) 新興感染症発生時における病床の確保数

現状値	0床	→	目標値	【流行初期】	1,200床
				【流行初期以降】	2,000床
	(令和4年度(2022年度))				(令和6年度(2024年度))9月までに確保し、その後確保数を維持する。

##### (2) 感染症専門研修受講者数

現状値	114人	→	目標値	542人
	(令和4年度(2022年度))			(令和8年度(2026年度))